

千代田図書館 おはなし会

千代田区立千代田図書館では毎月おはなし会を行っています。

■赤ちゃん向けおはなし会

絵本の読み聞かせや親子で楽しめるわらべうた・手遊びなどを楽しむ会です。

日時：毎月第2日曜日 11:00～

場所：千代田図書館 10階子ども室

対象：乳幼児（0才～2才くらい） 参加無料

※詳しくは千代田図書館までお問い合わせください。



四番町図書館 おはなし会

千代田区立四番町図書館でも毎月おはなし会を行っています。

■きんようびおはなし会

読み聞かせと工作などを楽しむおはなし会

※詳しくは四番町図書館までお問い合わせください。 ☎ 03-3239-6357

■どようびおはなし会（赤ちゃん向け）

絵本や手遊びなどをして一緒に楽しい時間を過ごすおはなし会

赤ちゃんを楽しむ 絵本ガイド

発行 2011年7月

改訂 2021年5月

千代田区立千代田図書館

〒102-8688

千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 9、10F

TEL 03-5211-4290

<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/>

赤ちゃんとお楽しみ 絵本ガイド



赤ちゃんにも絵本を

0歳児の赤ちゃんに絵本はまだ早いのでは？と思われるかも知れませんが、まず一緒に絵本を開いて楽しんでみてください。

赤ちゃんは大好きな家族に優しく語りかけられるひとときが大好きです。

絵本には赤ちゃんに語りかけるのにピッタリな要素がたくさん詰まっています、親子が仲良くなるための手助けになります。

最後まで読まなくても…と思わずに好きなページを開いて赤ちゃんの反応を見たり、言葉かけをしたりして赤ちゃんの気持ちに寄り添ってあげてください。

ブックスタートとは？

「赤ちゃんと一緒に絵本を開いて楽しむ時間」をすべての家庭に届ける活動のことです。絵本を読む楽しさ・気持ちを親子で分かち合う、Share Books「シェア・ブック」という考えに基づいています。

千代田区では、千代田保健所で実施している乳児3・4ヶ月検診で千代田図書館がブックスタートを行っています。

ファーストブック

まずは難しく考えずに絵本を広げて、赤ちゃんに優しく語りかけ、一緒に遊んでみてください。

はじめて楽しんだ絵本は、赤ちゃんにとっても家族にとっても、心に残る大切な本になります。ぜひお気に入りの1冊を探してみてください。



いない いない ばあ
松谷みよ子 文 瀬川康男 絵
童心社

伝承遊びのひとつ。わらべうたでも楽しめます。「じーじーば」と言います。



がたんごとん がたんごとん
安西水丸 作 福音館書店

心地よいリズムが癖になる一冊。シリーズに『がたんごとんがたんごとんざぶんざぶん』があります。



くっついた
三浦太郎 作・絵 こぐま社

手や足、顔をくっつけて遊んでみましょう。シリーズに『ならんだ』『わたしの』があります。

—文字のない絵本—

文字のない絵本は自由に語りかけて楽しめます。



あかちゃんのえほん シリーズ
ヘレン・オクセンバリー 作 文化出版局

『したく』の他に、『かぞく』『しごと』『ともだち』『あそび』があります。



はじめてのこぐまちゃん シリーズ
わかやまけん 作 こぐま社

赤ちゃんにぴったりな小型サイズ。ハードブックで角も丸いので安心して楽しめます。



すこし大きくなったら・・・

ことばの響きやリズムで絵本の楽しさを感じた後は、少し長いお話にふれてみましょう。

わくわくすること、ドキドキすることなど、幼い子どもの体験の広がりを絵本で感じることができます。

—はじめてのおはなし—



しろくまちゃんのほっとけーき

わかやまけん 絵 森比左志 文
わだよしおみ 文 こぐま社

見開きいっぱいに描かれたホットケーキが焼ける場面に、思わずよだれがでそう。



はらぺこあおむし

エリック・カール 作
もりひさし 訳 偕成社

お腹が空いたあおむしは、一週間毎日食べ続けました。するとお腹が痛くなって・・・



おつきさまこんばんは

林明子 作 もりひさし 訳
偕成社

おつきさまの顔の変化が興味をひきます。裏表紙の「あつかんべー」も愉快です。

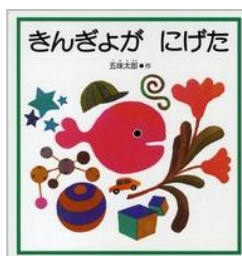
—さがしっこえほん—



やさいのおなか

きうちかつ 作・絵 福音館書店

野菜の断面図を当てる絵本。ほかに「やさいのせなか」「くだものなんだ」などシリーズがあります。



きんぎょがにげた

五味太郎 作 福音館書店

金魚鉢からきんぎょが逃げてかくれんぼ。見つけてもほら、「あ、またにげた！」



うずらちゃんのかくれんぼ

きもともこ 作 福音館書店

体の色と形を使い、花やひょうたんにかくれんぼ。うずらちゃんはどこかな。

ほかにもこんなおはなしのシリーズがあります。(子どもがはじめてであう絵本シリーズ)



うさこちゃんのたんじょうび

ディック・ブルーナ 文・絵
いしいももこ 訳 福音館書店

今日はうさこちゃんの誕生日。お父さんお母さんの他にも、すてきな友達がお祝いにやってきます。

- うさこちゃんひこうきにのる
ディック・ブルーナ 文・絵、石井桃子 訳
福音館書店
- うさこちゃんとゆうえんち
ディック・ブルーナ 文・絵、石井桃子 訳
福音館書店
- うさこちゃんのにゅういん
ディック・ブルーナ 文・絵、石井桃子 訳
福音館書店

わらべうたえほん



わらべうたは、古くから子どもをあやす「子育ての技」とも言われ、親子のふれあいを助ける力があります。

ぜひ赤ちゃんと一緒に、身体と身体をふれあい、リズムカルに声をかけあって遊ぶ楽しさを味わってみてください。



いろいろおせわになりました

やぎゆうげんいちろう 作
福音館書店

わらべうた「おちやをのみにきてください」を絵本にしたもの。

わらべうたえほんシリーズ

こばやしえみこ 案 ましませつこ 絵
こぐま社

リズムカルなことばの繰り返しです。節をつけて読むだけで楽しめます。

あがりめ さがりめ

ましませつこ 絵 こぐま社

語り継がれてきた代表的なわらべうたが遊び方と一緒に紹介されています。

うたって! きかせて! わらべうた



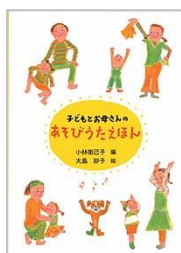
赤ちゃんとお母さんの
あそびうたえほん
小林 衛己子 編 大島 妙子 絵
のら書店

顔遊びやくすぐり遊び、おむつを換えるときのあやし歌を紹介。



あかちゃんのごきげんがよくなる
12のわらべうたえほん
小林 衛己子 編 あべななえ 絵
ハッピーオウル社

抱っこやおんぶをしながら、赤ちゃんと一体になって盛り上げられます。



子どもとお母さんの
あそびうたえほん
小林 衛己子 編 大島 妙子 絵
のら書店

兄弟で、家族で遊ぼう。手遊び歌や輪になって遊ぶわらべうたを紹介。



おはようからおやすみまでの
12のわらべうたえほん
小林 衛己子 編 おおいじゅんこ 絵
ハッピーオウル社

顔を洗うときや、お昼寝をするときなど、一日の生活をわらべうたで紹介。

たべものえほん



サンドイッチサンドイッチ

小西英子 作 福音館書店

しゃきしゃきレタスに真っ赤なトマト・・・色鮮やかで目にもおいしい、食べ物絵本です。



くだもの

平山和子 作 福音館書店

リアルに描かれたくだものに、思わず手を伸ばしたくなります。さあ、どうぞ。



まるくて おいしいよ

こにしえいこ 作 福音館書店

これなあに？様々な色と大きさの「丸」の中に、丸くておいしいものが隠れています。

どうぶつえほん



ねこがいっぱい

グレース・スカール 作
やぶきみちこ 訳 福音館書店

カラフルな色づかいと、シンプルで響きのよい言葉で綴られたロングセラー絵本です。



ぴよーん

まつおかたつひで 作・絵 ポプラ社

ページをめくるたびに、いきもの達が「ぴよーん」とはねる、元気いっぱいの絵本です。



でてこい でてこい

はやしあきこ 作 福音館書店

「ぴよーん ぴよん」などのリズムミカルな擬音語とともに、様々な動物が登場します。

おやこのえほん



どうぶつのおかあさん

小森厚 文 薮内正幸 絵
福音館書店

動物のお母さんたちの、子どもを大切に想う気持ちが伝わってくる絵本です。



どうぶつのおやこ

薮内正幸 画 福音館書店

本物のようなやわらかな毛の手触りや、息づかいなどを描いた字のない絵本です。



もうおきるかな？

まつのまさこ 文
やぶうちまさゆき 絵 福音館書店

気持ちよさそうに、仲良く眠っている動物の親子。もう起きるかな？

あかちゃんのせいかつえほん



おふろでちやぶちやぶ
松谷みよ子 文 いわさきちひろ 絵
童心社

どこいくの？いいとこ、いいとこ—優しい絵と言葉で、心もぽかぽか温まる絵本です。



おててがでたよ
林明子 作 福音館書店

手や頭など、体の様々な部分を「発見」していく喜びを描いた絵本です。



どうすればいいのかな？
わたなべしげお 文 おおともやすお 絵
福音館書店

失敗と挑戦を繰り返して、少しずつ上手にできるようになっていく様子を描きます。

のりもののえほん



あっ！
中川ひろたか 文 柳原良平 絵
金の星社

車や電車、飛行機など、大好きな乗り物が次々に登場します。



のせて のせて
松谷みよ子 文 東光寺啓 絵
童心社

まこちゃんの車に「のせてのせて」と動物たちが…リズムカルで楽しい絵本です。



まかせとけ
三浦太郎 作 偕成社

「はこんでください」「まかせとけ！」のかけ合いが楽しい、はたらく車の絵本です。

幸せな心の記憶

幼いころに親子で絵本を開くひとときは、子どもにも親にもずっと心に残る幸せな思い出です。

そして赤ちゃんは、その温かい「声の愛情に包まれた時間」を幸せな記憶として心の中にしまっておいて成長していきます。また、読んであげる家族にとっても、心やすらぐひとときになります。

子どもが字を読めるようになって、幾つになっても、読み聞かせは続けて良いものです。親子で絵本を囲んで楽しめる時間は短いので、シェアブックできる時間をどうぞ大切にしてください。

繰り返し読んだ絵本が、いつか家族にとってかけがえのない思い出の1冊になるかもしれません。

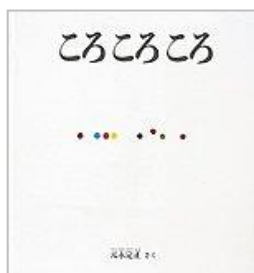
ことばの響きがおもしろい本

赤ちゃんが絵と言葉に興味を持つためには、絵がくっきりと明快であり、言葉には心地よいリズムがあることが必要だと言われています。耳から読書する赤ちゃんにとって、「ころころ」「びりびり」などのリズムカルな擬音語は、初めに耳でキャッチしやすい言葉とされています。



じゃあじゃあ びりびり
まつのりこ 作・絵 偕成社

いぬ「わんわん」、そうじき「ぶいーんぶいーん」など、楽しい音がいっぱい。



ころころころ
元永定正 作・絵 福音館書店

色だまが生きているかのよう、表情豊かに転がり回ります。あ、嵐が来た…。



もこもこもこ
谷川俊太郎 作 元永定正 絵 文研出版

なんとも不思議な生き物が、大きくなったりはじけたりします。しーん…もこっ！！



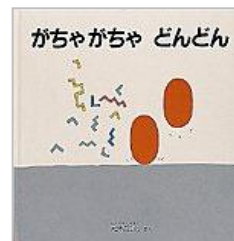
ごぶごぶ ごぼごぼ
駒形克己 作 福音館書店

お母さんの「お腹の中」を思わせるような音。懐かしい音に思わず赤ちゃんは夢中！



ぽぱーぺ ぽぴぱっぷ
おかざきけんじろう 絵 谷川俊太郎 作
クレヨンハウス

宇宙人の言葉のような響きがとても面白い音。愉快で不思議な音が楽しい一冊。



がちゃがちゃ どんどん
元永定正 作 福音館書店

思わず楽器をたたきたくなる絵本。カーンカーンなど擬音語がたくさん出てきます。

ほかにもこんなリズムカルな絵本があります。



くろねこかあさん
東君平 作 福音館書店

親子ねこの一日の様子を楽しい言葉で描いた本。まるで俳句のよう。



たまごのあかちゃん
かんざわとしこ 文
やぎゅうげんいちろう 絵 福音館書店

「でておいでよ」の呼びかけに、思わず「はい！」と答えたいくなる愉快な一冊。